

令和8年度五霞農業塾が開催されました

4月10日（金）にJA茨城むつみ五霞支店にて、令和8年度五霞農業塾開講式及び第1回講座が開講され、五霞町内の生産者等9名が参加しました。五霞農業塾は、「道の駅ごか」内にある農産物直売所の出荷者育成に向けた栽培技術の習得・向上を目的として、五霞町内の生産者を対象に講座を行っています。五霞町、JA茨城むつみと共同で開催しており、今年度で13期目を迎えました。

講座では、ミニトマトやナス、トウモロコシ、エダマメなどの品目について、その時期に合わせた栽培管理などを、座学とほ場での実演を交えて実施しています。今回は、開講式の後、ナス、ピーマン、ミニトマト、ネギの栽培について講座を行いました。普及センターからは、各品目の栽培方法や病虫害防除、肥培管理等について説明しました。

当日は雨天のため予定を変更し、JA茨城むつみ五霞支店内で講師の生産者による定植作業の実演を行いました。講師が事前に土を入れた発泡スチロール容器をベッドに見たてナス、ピーマン、トマト、ネギの定植作業を行い、受講生は作業を見学することで、実際のほ場作業を模擬的に学ぶことができました。

講座後に受講生からは、「参考になった」、「実際のほ場での作業に活かしたい」といった声があがりました。また、受講生からは多くの質問が寄せられ、活発な意見交換も行われました。

普及センターでは、今後も関係機関等と協力して、生産者の支援に努めてまいります。



写真. 農業塾の様子（4/10）

令和8年4月20日 坂東地域農業改良普及センター 金子（担い手）